

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名： 綾 部 市

プロジェクト名	いきいき地域再生プロジェクト		実施期間	平成23年度	テーマ	2 地域産業の育成 4 その他	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	少子高齢化や若者の人口流出、後継者や担い手不足などが地域の活力を弱めコミュニティ崩壊の危機を誘発している。地域を元気にし再生・復活させるためには、単一な取組だけでなく、総合的かつ複合的なさまざまな角度からの取組が必要である。地域の再生は地域の手で成し遂げることが持続的な発展の条件であり、地域自らが考え実践する取組や魅力づくりを支援するとともに、その環境整備として産業振興による雇用確保や住環境整備を推進しなければならない。							
プロジェクトの目的及び概要	地域自らが考え取り組むことを推進し、魅力ある地域づくりを支援することで、地域を活性化することを目的とする。 ■地域自らの活性化への取組：各種まつりやイベントの活用、いきいき交付金活動等 ■魅力ある地域づくり（農村・街なか）：水源の里連絡協議会活動等の都市農村交流活動、チャレンジショップ出店事業等 ■産業振興により雇用を確保（人口減少を食い止めるには、雇用の場が必要）：農業・商業・工業・観光業等の基幹産業の振興等 ■住環境の整備（定住住宅をはじめとする住環境の整備）：定住支援住宅整備、水源の里定住促進事業等							
	総事業費（千円）	66,829	本年度事業費（千円）	66,829	交付金額（千円）	29,640		
プロジェクトを構成する事業の平成23年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	水源の里連絡協議会事業費	交付対象事業	水源の里連絡協議会が実施する定住促進や都市農村交流事業を支援			特産品製造資機材の整備等		
	チャレンジショップ支援事業費補助金	交付対象事業	空き店舗を活用した新規出店者への家賃支援			出店者補助：5人		
	農業後継者就農支援事業費	交付対象事業	自宅農場で実践研修する農業後継者に就農支援奨励金			農業研修者補助：1人		
	水田利活用推進支援事業費	交付対象事業	集落営農活動支援事業、新規開発活動支援事業等			集落営農活動支援：8集落分 水田にやさしい麦・新規需要米づくり支援：5件分 麦あと小豆：15件分 新規開発活動		
	山に帰そう共生の森づくり事業費	交付対象事業	森林内の作業道を伐開し、バッファゾーン設置			バッファゾーン整備：22路線、延長14,102m		
	間伐材運搬対策事業費	交付対象事業	木材資源の有効活用促進のため間伐材運搬支援等			間伐運搬施行材積：2291.269m ³ 、間伐促進施行面積：37.92ha		
	有害鳥獣駆除対策事業費	交付対象事業	狩猟期間におけるシカ駆除捕獲			狩猟期間シカ捕獲数：760頭		
	緊急金融支援事業費	交付対象事業	公的融資制度利用企業に対し、保証料の一部補給			信用保証料補給：46件		
	ITビル施設整備事業費	交付対象事業	多目的ホールプロジェクター改修、管内監視システム改修等			プロジェクター改修：一式 館内監視システム改修：一式		
	定住支援住宅整備事業費	交付対象事業	定住支援住宅（空き家2棟）の整備			定住支援住宅整備：2棟（睦寄町1棟、上杉町1棟）		
	水源の里定住促進事業費	交付対象事業	UIターン促進のための生活費支援、住宅取得・改修支援			定住支援：5件 住宅整備支援：4件		
	共同集会所整備事業費（中筋会館）	交付対象事業	施設前駐車場の舗装整備			駐車場舗装：コンクリート舗装工92m ² 、目地補修工85m		
	コミュニティ助成事業費	交付対象事業	公会堂改修や水洗化改修等			助成団体：4自治会（新築1、水洗化2、改修1）		
	除雪機械整備費補助金	交付対象事業	除雪機械導入支援			除雪機導入支援：10自治会（除雪機10台）		
	有害鳥獣被害対策事業費	関連事業	駆除対策事業、防除柵設置事業、特別駆除班事業、猟銃取得事業等			防除策設置延長：2,463m		
	携帯電話等エリア整備事業費	関連事業	携帯電話不感知解消のため鉄塔等の整備			携帯電話鉄塔整備：8か所		
除雪機械整備事業費	関連事業	歩行式ロータリー除雪機の更新（市志）			歩行式ロータリー除雪機：1台			
住民 協働 事業	いきいき地域づくり交付金事業費	交付対象事業	地域が取り組む活性化計画策定や取組支援			補助地区：5地区		
	産業まつり事業補助金	交付対象事業	農林業振興祭、商工フェア、消費生活展、ふれあいフェスタ等			参加者数：32,000人		
	水無月まつり事業補助金	交付対象事業	水無月まつり開催支援			参加者数：37,000人		
	丹の国まつり事業補助金	交付対象事業	丹の国まつり開催支援			参加者数：18,000人		
	里山サイクリング事業補助金	交付対象事業	里山サイクリング開催支援			参加者数：382人		
	二王門登山レース補助金	交付対象事業	二王門登山レース開催支援			参加者数：835人		
	観光振興事業費	交付対象事業	水源の里水の商品化、観光ホームページリニューアル、B級グルメ開発等			水源の里水：3,000本 ホームページリニューアル：一式		
	農業法人育成支援事業費	交付対象事業	集落経営体の組織化と育成（法人化誘導、経営支援）			職員派遣：1人		
	地域特産物販売・開発事業費	交付対象事業	特産品の開発や商品化支援			漬物の開発、作目（施設野菜、露地野菜）の検討等		
	綾部の米づくり支援事業費	交付対象事業	特別栽培米の減収分の経営支援			取組面積：10,579.43a		
	観光施設等管理運営費	交付対象事業	温泉湯水ポンプ、二王館エアコン等改修			温泉湯水ポンプ改修：一式、二王館エアコン改修：一式		
	あやべ温泉整備事業費	交付対象事業	温水ヒーター改修、地上デジタル化整備等			温水ヒーター改修：一式、地上デジタル化整備：一式		
	定住サポート事業費	交付対象事業	空き家提供報奨金、空き家見学ツアー等			空き家提供報奨金：19件		
	住民が 取り組む 事業	手すき和紙価値向上プロジェクト	関連事業	体験講座を通じて和紙の魅力を発信			綾部地域の伝統的文化の一つである手すき和紙の体験講座等を通じて和紙の魅力を発信（事業費：314,610円）	
大島町中自治会の活性化を目指して		関連事業	「大島町中自治会の歩み」を発行し、地域の歴史を確認するとともに各種の勉強会を開催			「大島町中自治会の歩み」を発行し、編集時に地域の歴史を確認（事業費：1,576,000円）		
山家谷藩文書の発掘と山家地区京街道の歴史探訪		関連事業	谷藩文書の記録保存活動や城壁の整備、歴史資源としてPRや講演会の開催			谷藩文書の記録保存活動や山家城の敷地や城壁等の整備を行い、新たな歴史資源として活用等（事業費：837,876円）		
里山グリーンツーリズムのゲートウェイ		関連事業	里山体感ツアーの実施、定住希望者と地域住民との交流			里山体感ツアーの実施（事業費：623,404円）		
いつまでもきらりと光る上林にするための事業		関連事業	地元食材を活用した伝統料理レシピをまとめ、器などの作家や生産者もあわせて紹介し上林の魅力発信			未実施		
高津町3K（活気・元気・ウォーク）マップ		関連事業	町内の散策マップを作成し、地域内の交流促進			高津町内の散策マップを作成（事業費：192,355円）		
志賀郷連続自由講座		関連事業	各地域団体が連携し、地域の発信講座を連続して開催、地域の良さを発信・交流			志賀郷地域の各地域団体が連携し、力を合わせて、連続的に地域の発信講座を展開（事業費：328,215円）		
「山家城下町絵図」にかかわる展示・講演・講習会の開催		関連事業	山家城下町絵図を展示し、専門講師による歴史解説を行い情報発信			山家城下町絵図の展示会を開催（事業費：233,750円）		
森の恵みに育まれた里山文化体感事業	関連事業	ツリークライミングや他の遊びを組み合わせ里山の魅力を発信、小学生を対象に地域の魅力を知ってもらう			未実施			

成果指標 ①	成果指標の目標数値	農村都市交流人口 H21 : 2,527人 → H27 : 3,000人	成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)	1,836人
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	里山交流センターの合宿利用減などにより、基準値を下回ったため
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)	(時期)	
成果指標 ②	成果指標の目標数値	綾部市工業団地立地企業数 H21 : 9社 → H27 : 10社	成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)	9社
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	立地企業に増減はなく、基準値を維持しているため
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)	(時期)	
成果指標 ③	成果指標の目標数値	認定農業者数 H21 : 57人 → H27 : 62人	成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)	48人
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	認定農業者の高齢化に伴い、現認定農業者の継続更新が進まない状況となったため
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)	(時期)	
成果指標 ④	成果指標の目標数値	農業後継者就農支援事業後継者数 H21 : 4人 → H27 : 10人	成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)	5人
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	現段階では進捗率はわずかではあるが増加しているため
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)	(時期)	
成果指標 ⑤	成果指標の目標数値	新規就農者数 H21 : 50人 → H27 : 60人	成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)	45人
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	新規就農希望者は年々増加する傾向にあるが、就農へ踏み切れない人が多く、基準値を下回ったため
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)	(時期)	
成果指標 ⑥	成果指標の目標数値	日帰り観光客数 H21 : 360,221人 → H27 : 430,000人	成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)	383,386人
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	綾部バラ園など新たな観光地が加わり、基準値から一定の進捗があるため。
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)	(時期)	
成果指標 ⑦	成果指標の目標数値	宿泊観光客数 H21 : 62,519人 → H27 : 65,000人	成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)	61,823人
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	里山交流研修センターの宿泊減などから、基準値を下回ったため。
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)	(時期)	
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	<p>水源の里連絡協議会の事業やいきいき地域づくり交付金事業をはじめ、地域活性化やイベント等の事業の実施により、農村都市交流人口・日帰り観光客数・宿泊観光客数の確保に努めたが、農村都市交流人口・宿泊観光客数は基準値を下回る結果となった。今後においても、里山交流研修センターの活用促進を図るため、交流イベントのPRや地域の取組支援を推進したい。</p> <p>農業後継者就農支援事業、水田利活用推進支援事業、綾部の米づくり支援事業などの直接的な支援から、有害鳥獣対策や特産品の開発等の農業環境の整備を推進し、認定農業者数・農業後継者就農支援事業後継者・新規就農者数の増加に努めたが、高齢化による影響等で認定農業者数・新規就農者数については基準値を下回る結果となった。今後も各種の支援制度や有害鳥獣対策等を推進するとともに、就農した直後の経営の不安定さや、就農に踏み切れない人のために創設された国の青年就農給付金を活用し、新規就農者の増加を図りたい。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。</p>			
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	住民自らが地域の活性化に取り組む機運が高まり、各地域での地域活性化の動きが見られた。		
	府と市町村等との連携に資する成果	有害鳥獣対策など府と連携した取組の推進により、里山の保全や農村環境の改善につながった。また、携帯電話不感知の解消により、デジタルディバイドの解消を図ることで、水源の里地域へのUIターン促進につながった。		
	住民の自治意識を高める成果	コミュニティ施設整備に対して補助金を交付することにより、市民主体のコミュニティ活動を促進し、創意と活力に満ちた住みよい地域社会の形成を図ることができた。また、いきいき地域づくり交付金等、地域住民が自主的に地域活性化に参加することにより、市民一人ひとりの「自分たちのまちは自分たちでつくる」という意識の高揚が図れた。		
	リーディング・モデル成果			
	広域的波及成果	水源の里連絡協議会事業などの水源の里対策については、全国展開に広がり、各地で水源の里活性化の活動が行われている。		
	行財政改革に資する成果			
	その他の成果			

(記載要領)

- プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは○、目標数値の近似値であるときは◎、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名： 綾 部 市

プロジェクト名	地域を担う人材の育成プロジェクト	実施期間	平成23年度	テーマ	4 その他	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	少子高齢化や若者の都市への人口流出により、地域力の低下やコミュニティの崩壊が懸念されているが、地域を再生するのは「人」であり、「人づくり」こそが地域再生のカギである。 年齢、性別を問わず、すべての市民が個性と能力をのびのびと発揮できる育成環境を作らなければならない。 特に子どもや青少年の育成は極めて重要であり、家庭、地域、学校、行政等が連携して教育や支援を行うとともに、広く地域で活躍する人材の育成・確保など、幅広い人材育成が急務である。						
プロジェクトの目的及び概要	地域再生のカギは、「人づくり」であり、地域社会の活性化や持続的発展に向けた人づくりを目的とする。 地域を担う「人」を育成することが、いきいきとした地域づくりにも運動していくことから重要なプロジェクトと位置付けている。 ■ふるさと教育の実践（若年層を中心に地域に愛着を持てる人材を育成）：「ふるさとに誇りを」教育の推進、綾部の民話集の作成支援、オンライン・ナンバーワンの発掘、教育施設等の整備等 ■国際社会で通用する人材の育成：英語検定の受験推進、外国人英語教師の雇用等 ■さまざまな問題を抱える児童生徒の育成（今は問題を抱えていても大切な人材であり担い手）：適応指導教室の設置、特別支援教育支援員の配置等 ■急増するひきこもり対策（若者の自立支援を行うためのネットワークづくり）：「ひきこもり等自立支援会議」の活動支援等 ■広く地域で活躍する人材の育成：オンライン美術館開設、ボランティアコーディネーター設置、老人福祉施設やスポーツ施設の整備等						
	総事業費（千円）	217,759	本年度事業費（千円）	217,759	交付金額（千円）	45,190	

プロジェクトを構成する事業の平成23年度事業実績（出来高数値等）

事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）
市町村 実施事業	「ふるさとに誇りを」教育推進事業	交付対象事業	各学校独自に地域等から信頼される、誇りを持てる活動や運動を推進する事業	実施校：16校（全小中学校）
	オンリーワンナンバーワンPR事業費	交付対象事業	本市の特徴をPRし、定住施策やふるさと教育の一助	PR冊子作成：7,000部
	英語指導助手業務委託事業	交付対象事業	英語指導助手2人の派遣委託	英語指導助手：2人
	英語技能検定受験事業費	交付対象事業	中学生2・3年生対象に英語検定受験料支援	受験者数：583人
	IT推進事業費	交付対象事業	教育用PCの更新等	教育用ネットワーク機器更新：サーバ1台
	吉美小学校プール建設事業費	交付対象事業	設計業務委託	プール建設設計業務委託：一式
	小学校施設水洗化事業費	交付対象事業	物部小学校便所を農排施設に接続整備	農業集落排水接続工事：一式
	大規模改修事業費（中学校）	交付対象事業	綾部中学校屋外倉庫設置、豊里中学校屋根防水改修等	屋外倉庫設置：一式 屋根防水改修：一式 給水工事：一式
	幼稚園施設維持管理費	交付対象事業	綾部幼稚園AED導入	AED：1台
	耐震補強事業費（小学校）	交付対象事業	物部小学校、東八田小学校耐震補強工事	耐震補強工事：一式
	耐震診断事業費（中学校）	交付対象事業	何北中学校耐震診断・補強判定	耐震診断及び実施設計：一式
	適応指導教室運営事業費	交付対象事業	不登校児童生徒を対象とする適応指導教室の運営支援	適応指導教室：1教室
	特別支援教育支援員配置事業	交付対象事業	さまざまな障害を持つ児童生徒に対応するため特別支援教育支援員を配置	特別支援教育支援員：8人
	ひきこもり等自立支援会議研修会開催経費	交付対象事業	若者等の自立支援のネットワークづくり	研修講演会開催：1回
	市民センター競技場便所改修事業費	交付対象事業	2階競技場便所改修（漏水）	便所改修：一式
	総合運動公園体育館照明改修事業費	交付対象事業	水銀灯照明器具の更新	水銀灯安定器取替：7台
	市民センター中央ホール空調設備整備事業費	交付対象事業	空調設備整備	空調設備設置：一式
	老人福祉センター改修事業費	交付対象事業	食堂と談話室の整備	内部改修工事：一式 機械設備工事：一式 機器撤去工事：一式
	ハートセンター玄関屋根改修事業費	交付対象事業	老朽化による屋根改修	防水工事：一式 金属工事：一式
	ボランティアコーディネーター設置事業	交付対象事業	ボランティア活動を推進するため社会福祉協議会に対しコーディネーター設置経費に対して補助	コーディネーター：1人
放課後子ども教室推進事業費	関連事業	安全で健やかな場所の確保を図るとともにさまざまな体験や学習の機会を提供	放課後子ども教室：10教室	
住民 協働 事業	綾部の民話集作成事業費	交付対象事業	市内に伝わる民話を子どもにも読みやすい冊子にまとめ学校や公民館活動で使用	民話集作成：1,000部
	ふるさと綾部応援事業費	交付対象事業	ふるさとあやべ応援者の拡大事業	特別市民会員：1,323人
	地球市民の集い実行委員会補助金	交付対象事業	平和推進事業を支援・推進	世界連邦推進ポスター作文コンクール応募数：714件
	オンライン美術館事業費	交付対象事業	市民本人が制作した文化芸術作品の画像をオンラインで展示	ホームページ開設：一式
住民が 取り組む 事業	学びの里～地域で不登校の子供たちを育てる～	関連事業	不登校児童や生徒に対して学習指導等	小、中、高校で不登校状態にある児童・生徒への学習指導や高校中退者に対する学習指導等を実施（事業費：512,863円）
	あやべ写真サロン展	関連事業	綾部をテーマとした写真展を開催、写真文化の普及	綾部をテーマとした写真展を開催し、併せて写真講習会を実施（事業費：199,000円）
	綾部市民文化教室 初心者体験講座	関連事業	文化協会傘下団体が文化体験教室を開催	文化協会に所属する各団体が、文化体験教室を実施（事業費：175,560円）
成果 指標 ①	成果指標の目標数値	小学校耐震化率 H21：71% → H27：100%	成果指標の実績値 （平成24年3月31日時点）	92%
	成果指標の達成状況	◎	（左の理由）	平成23年度は2校の耐震化を図り、順調に進捗しているため
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）	（時期）
成果 指標 ②	成果指標の目標数値	中学校耐震化率 H21：48% → H27：76%	成果指標の実績値 （平成24年3月31日時点）	68%
	成果指標の達成状況	◎	（左の理由）	平成23年度の耐震化工事は実施していないが、順調に進捗しているため
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）	（時期）
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果	耐震補強事業の実施により、学校施設の耐震化は非木造校舎については完了するなど順調に進捗し、今後、木造校舎の耐震化を推進していく。			
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応策についても記載すること。			

本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	
	府と市町村等との連携に資する成果	
	住民の自治意識を高める成果	地域ぐるみで児童生徒の豊かな心を育成するため、家庭や地域と連携した教育環境の整備を進めることにより、学校・家庭・地域社会が連携・協働した取組を進めることができた。
	リーディング・モデル成果	
	広域的波及成果	
	行財政改革に資する成果	
	その他の成果	

(記載要領)

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは○、目標数値の近似値であるときは◎、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名： 綾 部 市

プロジェクト名	地域防災力の向上プロジェクト		実施期間	平成23年度	テーマ	3まちの安心・安全	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	近年、環境変化や気候変動等による大規模災害が頻発しており、少子高齢化や若者の人口流出等により、地域の組織力がますます低下することが懸念される中、災害等に対する地域の組織力・防災力を高めることが喫緊の課題となっている。このため、自治会などを単位とした自主防災組織を育成するなど、市民や行政、消防団をはじめとする関係組織が一体となって防災体制の整備や防災機能の強化に努めるとともに市民の防災意識の高揚を図り災害に強いまちづくりを推進していく必要がある。							
プロジェクトの目的及び概要	人口減少等で地域の組織力低下が懸念される中、地域の組織力・防災力を向上・強化することを目的とする。 地域の組織づくりを推進することは、地域の人材育成を支援することにもなり、いきいきとした地域の形成や安全・安心の住みよいまちづくりに寄与するものとして重要なプロジェクトと位置付けている。 ■自主防災組織の強化・支援：地域の自主防災組織の活動強化と支援 ■消防組織の強化：少年少女消防クラブ隊・機能別消防団の発足、女性消防団の活動支援等 ■原子力防災への対応：避難所用備蓄用備品の整備、地域の各種団体と行政等との連携強化等							
	総事業費（千円）	23,036	本年度事業費（千円）	23,036	交付金額（千円）	11,230		
プロジェクトを構成する事業の平成23年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村実施事業	自主防災組織育成補助	交付対象事業	自主防災組織育成支援			支援組織：23組織		
	災害時応急対策整備事業費	交付対象事業	ハザードマップ作成			ハザードマップ増刷：1,000部		
	原子力防災緊急対策事業費	交付対象事業	備蓄用備品整備（毛布・食料品）、避難訓練実施経費等			毛布：1,000枚 非常食：1,920食 水：2,000本		
	小規模老朽ため池整備事業費	交付対象事業	老朽ため池取水施設改修			浄土寺池 取水施設工：一式		
	下コモ池整備事業費	交付対象事業	浚渫・水路整備工			土砂浚渫工：40m ³ 水路整備工：20m		
	都市下水路整備事業費	交付対象事業	都市下水路及び排水路の浚渫			都市下水路改修工：205m		
	消防車両整備事業費	関連事業	小型動力ポンプ積載車等導入			ポンプ車：1台 小型動力ポンプ積載車：3台 小型動力ポンプ：3台		
住民協働事業	少年少女消防クラブ隊事業費	交付対象事業	小中学生対象の防火クラブ隊の発足に伴う経費			募集チラシ：2,000部 ポスター：30部 制服・キャップ：21セット		
	女性消防団員活動支援事業費	交付対象事業	昨年発足した女性消防団員の活動経費			広報うちわ：100枚 ヘルメット・制服・キャップ：2セット		
	機能別消防団経費	交付対象事業	機能別消防団の発足に伴う活動経費			団員：20人		
住民が取り組む事業	東日本大震災支援活動	関連事業	被災地での支援活動、次の支援に向けて報告会と座談会開催			被災地での支援活動、次の支援に向けて報告会と座談会開催（事業費：221,241円）		
	宮城県亘理郡山元町「被災者生活復旧支援活動」	関連事業	被災地支援に現地入りした方からの報告会の開催、今後の継続支援に向けた調整			東日本大震災の被災地支援の報告会、被災地でのボランティア活動等（事業費：556,694円）		
成果指標①	成果指標の目標数値	自主防災組織数 H21：121組織 → H27：196組織			成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)	130組織		
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由) 高齢化やリーダー、活動要員の不足などから、新たな組織結成が進みにくい傾向にあるが、基準値から一定の進捗があるため。					
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)			(時期)		
成果指標②	成果指標の目標数値	防災座談会の開催数 H21：21回 → H27：25回			成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)	21回		
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由) 東日本大震災以降、防災への関心は高まってはいるが、座談会の回数は思うように伸びず基準値を維持にとどまったため					
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)			(時期)		
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	ハザードマップの作成や、原子力災害に対応した備蓄を進めたこと、少年少女消防クラブ隊や女性消防団員の活動などは、市民の自主防災意識の高揚につながっており、直接に自主防災組織育成支援の事業を実施することにより、組織化の促進につながったと考えられる。 また、自主防災組織の活動をのちに防火座談会が開催されるが、近年の災害に対する意識の高まりから、防火だけでなく各種の災害に対応した研修会等が実施されるなどの広がりも見せている。 今後も自主防災組織の組織化を促進することで、防火座談会の開催数の増加を図りたい。 ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。							
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	東日本大震災の影響もあり、住民自らの被災地支援活動が展開されるなど、災害ボランティアの活動が地域防災力の向上につながった。						
	府と市町村等との連携に資する成果							
	住民の自治意識を高める成果	施設・設備と情報・教育・訓練の両面から総合的な防災体制の整備を図るとともに、自治会を中心とした自主防災組織や事業所における自衛消防組織の育成に努めることにより、市民の防災意識の高揚、地域防災の体制強化につながった。						
	リーディング・モデル成果	既存の消防団員だけでなく、少年少女消防クラブ隊、女性消防団員、機能別消防団員などの活動により、子どもから大人まで広く防災意識の高揚を図り、地域の防災力の向上につながった。						
	広域的波及成果							
	行財政改革に資する成果							
その他の成果								

(記載要領)

- プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは○、目標数値の近似値であるときは◎、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名： 綾 部 市

プロジェクト名	環境に負荷をかけない暮らしの実現プロジェクト		実施期間	平成23年度	テーマ	3まちの安心・安全	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	地球規模で起こっている環境問題の深刻化への懸念は、社会経済情勢の大きな変化も相まって、市民にとっても大きな社会不安となっている。自分たちにできることを身近なところから見つめなおし、環境に負荷をかけない暮らしを実現することが急務である。このため、廃棄物の適正処理や排出抑制に加え、環境を守り育てる意識の高揚など環境保全の啓発活動をはじめ、クリーンエネルギーの導入等による温室効果ガスの削減に向けた活動を推進する必要がある。							
プロジェクトの目的及び概要	環境にやさしい暮らしを実現し、住みよいまちづくりを行うことを目的とする。住みよい環境を作るため地域での活動を推進することは、地域の人材育成やいきいき地域の実現にも寄与するものとして重要なプロジェクトと位置付けている。 ■環境保全活動：環境市民会議や上林川を美しくする会の活動を支援し、啓発活動を推進 ■環境にやさしいエネルギー社会の実現：バイオディーゼル等代替エネルギーの利用促進や太陽光発電設備の設置奨励等を推進							
	総事業費（千円）	49,979	本年度事業費（千円）	49,979	交付金額（千円）	21,521		
プロジェクトを構成する事業の平成23年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村実施事業	綾部発バイオディーゼル推進事業費	交付対象事業	バイオディーゼル啓発、ポータブル給油機設置			給油タンク整備：1基		
	太陽光発電システム設置補助事業費	交付対象事業	太陽光発電システム設置支援			設置補助：60件 公称最大出力合計：249.92KW		
	クリーンセンター改修事業費	交付対象事業	RDF製造施設改修、RDF 燃焼発電施設改修等			一次二次破砕機・破袋兼異物分離機・刃物取替、モーター取替等		
住民協働事業	上林川を美しくする会事業費補助金	交付対象事業	上林川を美しくするための取り組み支援補助			補助：1団体		
	環境市民会議運営費補助金	交付対象事業	環境市民会議活動支援補助			補助：1団体		
	綾部バラ園の管理運営事業	関連事業	地域で守るバラ園づくりをめざしバラまつりの開催やボランティアによる体制づくり			バラ園の環境整備		
住民が取り組む事業	由良川サケ環境保全啓発事業	関連事業	サケの稚魚飼育を通じて河川環境保全への理解と地域の交流促進と活性化			サケの稚魚飼育放流事業（事業費：479,275円）		
	まゆまる花アート&ツアー	関連事業	里山の環境整備を図るため、花アートと「里山巡り散策ツアー」を開催、環境美化と交流促進			花アートと地域の「里山巡り散歩ツアー」（事業費：284,113円）		
成果指標①	成果指標の目標数値	廃食油回収量 H21：6,920ℓ → H27：7,000ℓ		成果指標の実績値（平成24年3月31日時点）		61,678ℓ		
	成果指標の達成状況	△	(左の理由) 人口減少等の影響により、基準値を下回ったため。					
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)			(時期)			
成果指標②	成果指標の目標数値	一人当たり家庭ごみ排出量 H21：222kg → H27：200kg		成果指標の実績値（平成24年3月31日時点）		217kg		
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由) 基準値から一定の進捗があるため。					
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)			(時期)			
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	環境市民会議は、廃食油回収事業、花街道整備事業、カレンダー作製、ごみ減量活動、環境美化クリーン大作戦、環境講演会、機関紙発行等の実践活動を行っており、活動を支援したことにより、家庭ごみ排出量の削減に効果があった。廃食油回収についても、この事業がなければ回収量はさらに下回っていた。また、バイオディーゼル燃料の給油機を設置し活用することにより、資源保護につながったとともに、廃食油回収意識の高揚を図ることができた。なお、廃食油回収量は人口減少等の要因もあり基準値を下回ったが、引続き環境市民会議等の支援を行うとともに、さらなる啓発活動の推進に努めることで、廃食油回収量の増量を図りたい。 ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。							
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果							
	府と市町村等との連携に資する成果							
	住民の自治意識を高める成果		太陽光発電等の環境にやさしいエネルギーへの理解が深まるとともに、自主的なごみ減量・資源化の活動につながることができた。					
	リーディング・モデル成果		全国的にも例が少ない廃棄物発電施設であるクリーンセンターにおいては、国が定めるダイオキシン類の排出規制値（5ナノグラム）を更に低く抑制することが可能であり、環境負荷の低減やエネルギーの有効活用ができることから、循環型社会の確立に向けて発信することができた。					
	広域的波及成果							
	行財政改革に資する成果							
	その他の成果							

(記載要領)

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは○、目標数値の近似値であるときは◎、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。